

令和2年度 第1回 高槻市中心市街地活性化協議会 会議録

日 時：令和2年11月2日（月）～11月16日（月）
場 所：書面開催
事 務 局：高槻商工会議所、高槻都市開発株式会社
市担当課：高槻市産業振興課

令和2年度中心市街地活性化協議会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面にて開催された。議題は以下のとおりである。

（議題）

1. 高槻市中心市街地活性化基本計画記載事業の進捗について
2. 中心市街地活性化事業の実施について（たかつき活性化塾の開催）
3. 高槻市中心市街地活性化基本計画の変更認定について
4. 高槻市中心市街地活性化基本計画の変更予定について

協議会構成員 26 名に上記にかかる資料を送付し、以下のとおり 7 名から意見をいただいた。

（意見）

1. 令和2年度の会合を行って下さい。又、年2～3回行ってほしい。
2. 各商店街単体ではなく、共同事業を展開し活性化を街全体で取り組む為の協議を開催して頂きたい。
3. 中心市街地内を歩いて暮らせる生活空間の実現について、歩行者専用商店街でも自転車の通勤通学者が多く、マナーが欠如している。そのための対策なしでは、高齢者が安心して通行する気持ちになれない。

コロナ禍の環境で、その経済的被害が大きいホテル事業ではあるが、市有地にホテルアベストグランデ高槻がオープンしたことは、良いニュースであった。今後、高槻北部商業連合会と連携し、商業発展に寄与して頂けると期待する。

別の次元で、地球環境が不透明で突然の有事も安心できない状況。令和3年春に全面開園する安満遺跡公園は防災公園としての担いで頼れる施設である一方、市民イベントにも積極的活用を促し、にぎわい作りになると期待する。

たかつき活性化塾のはにたんスタンプラリー開催商店街は、エリアマップに非組合員も同様に取上げ、地域として対応したことに対して称えたい。と同時に、組合に

加入して頂けない店舗については、全単組が持つ同じ悩みでもあり、入会のきっかけ作りとして考えれば良いと思う。また、各店舗売上には結びつかなかったが、今後店に入って頂きやすくなっただかなと思える事業と思う。

高齢者やベビーカーの往来に対し、無電柱化及びバリアフリー化等の計画に目標の生活空間に近づけると思われる中、地域住民の理解に苦しむ面も覗き見えるが、努力を継続し計画時期に成果物を期待する。

高槻市・高槻市観光協会・高槻商工会議所共催の体験交流型観光プログラムオープンたつきを市民に活用してもらい、中心市街地内で触れ合える機会を設け、集客と認知の一助に出来るプログラムを増やすことを望む。

4. 当商店街について別紙企画を「go to 商店街」事業として参画の予定です。

中心市街地活性化事業の一環として、自身の街歩きの経験と商店街会員の意見を列記します。

①阪急高槻駅北側の住友前広場の階段下に公衆トイレの設置をお願いしたい。

(高齢者の増加により、トイレ需要の増加が顕著であり、バス待ちの人にも必要と思われます)

②中通り、本通りの車両規制の変更、一方通行の方向を再検討をお願いしたい。

(みずは銀行前が両面通行のため、西行の車両の行き場がなく、また交叉を間違ってくる車両が多い)

③本通りの街路灯及び電柱の地中化の再検討を。

④電柱の地中化事業が中止になったと聞いていますが、それに代わる方策を考えていただきたい。当商店街としては老朽化した街路灯の更新等も必要と考えていますが、電柱地中化の案件があったので保留にしています。

⑤JR 高槻駅・阪急高槻駅間は将来の高槻市の看板となる地域です。高槻市の顔として整備していただきたい。

5. 現下のコロナ禍の影響により中心市街地の商店街等小規模商業者は少なからず影響を受けている。中心市街地活性化を進めていく上において、「経済活力の向上」は欠かせないことから、「たつき活性化塾」等の商業活性化への取組みなど、コロナ禍を念頭においたソフト事業のフォローが中心市街地の活性化に必要な状況が生じている。

6. コロナ禍の中、事業推進が難しい状況下ではある。中心市街地区域内は時限を設けて車両等の通行を禁止し、安心・安全に買い物等ができる街づくりを提言。

7. 今後も高槻市の中心市街地の活性化に向け弊社も取り組んで参ります。なお、地域メディアとして情報発信など、活用できることがあれば是非とも活用下さい。高槻市の活性化に繋げられる情報をお待ちしております。